

令和元年第10回大田市教育委員会定例会会議録

令和元年9月27日午後2時、大田市教育委員会事務局において、第10回大田市教育委員会定例会を開催した。

1. 開会及び閉会

開 会 令和元年9月27日 午後2時00分

閉 会 令和元年9月27日 午後3時15分

2. 出席委員の氏名

教育長 船木三紀夫

委 員 竹下ちとせ 仲野義文 梶 伸光 福間信隆 木村貴子

3. 欠席委員の氏名

なし

4. 傍聴人

なし

5. 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

川島教育部長 森本総務課長 和田学校教育課長 霊山社会教育課長
遠藤石見银山課長 西村山村留学センター長 三谷学校給食センター長
後藤人権推進課長 錦織総務課長補佐

6. 開 会

船木教育長開会を告げ開会

(1) 第9回の会議録について

教 育 長 第9回の会議録について、訂正箇所等あればお願いします。

福間委員 訂正箇所を発言。

教 育 長 その他訂正箇所等ありませんか。

委 員 (なし)

教 育 長 訂正箇所等を修正のうえ、第9回の議事録については承認とさせていただきます。

(2) 教育長の報告について

教 育 長 経過報告に入ります。前回は8月22日に定例教育委員会を開催しましたので、その後の報告をさせていただきます。

25日、天領さんの大森会場が開催されました。

26日、来年度の公立学校の教員採用候補者選考試験が松江でありました。二次試験であります。私が面接をさせていただきました。

27日、政策企画会議と総合教育会議が開催されました。総合教育会議では、委員の皆さんに大変お世話になりました。学校の先生方も傍聴に来ておられました。また、ぎんざんテレビも放映されたと思います。

28日、公共施設適正化本部会議と指定管理者選定委員会が開催されました。指定管理者選定委員会では、石見銀山世界遺産センターが令和2年度で期間が終了となりますので、公募ではなく、選定という形で、審議を行い、現在、指定管理を受けておられる石見交通が引き続きされる予定です。

30日、政策企画会議と行革本部会議が開催されました。

31日、ふるさと文芸賞の作品募集の締め切りでした。これにつきましては、後程、担当課長から説明があります。

続きまして、9月でございます。

9月は、市議会が2日から25日までの日程で開催されました。

9月の議会は、前年度、平成30年度の決算審査がありました。

3日、中学校の弁論大会が大田一中で開催されました。2名の生徒が大田市の代表ということになりました。昨日、大田市民会館

の方で、島根県大会が開催されましたが、惜しくも島根県の代表にはなれませんでした。

4日、校長会が開催されました。

5日と6日、市議会の一般質問がありました。

11日、通学生マナーアップキャンペーンということで、朝、大田市駅の方で、列車で通学する高校生への挨拶運動がありました。

14日、「ここまでわかった石見銀山」が開催されました。また、しまねUIターンフェアが14日と15日の両日、実施されております。

16日、おおだデザインフェスが大田市中心図書館を会場として実施されております。この催しは、おおだデザイン会議と島根大田青年会議所の共催で行われました。

20日、三瓶自然館運営委員会が開催されました。三瓶自然館は、11月から来年の3月まで、リニューアルのため閉館となります。来年開催の植樹祭までに間に合うように工事を進めたいということでありました。また、東京文化財研究所世界遺産シンポジウムが開催されております。これは、石見銀山課の所管であります。

21日から24日まで、台風が近づいて危ぶまれましたが、鳥井南遺跡の展示を鳥井まちづくりセンターの方で開催しております。

22日には、石見銀山課の中田補佐の講演会がありました。また、世界遺産特別講座ということで、広島市の方で実施しております。

23日には、東京の方でも、世界遺産特別講座を実施しております。

24日、最後の第4回目の学校のあり方に関する基本方針検討委員会が開催され、大体の基本方針（案）が出来上がりました。今、調整中であり、追って、パブリックコメントをする中で、最終的には、10月の定例教育委員会に諮りたいと思っております。

25日、市議会の閉会でありました。

26日、先程も言いましたが、市民会館の方で、少年の主張の県大会が行われております。

27日、本日が定例教育委員会であります。

以上であります。

川島部長

16日に、大田市中心図書館でおおだデザインフェスが行われましたが、同日、オペラ石見銀山の合同練習会がありました。これは、10月31日に東京文化会館で公演されます。

また、昨日の26日、山陰防災電機株式会社の方から、小中学校に寄附をしたいということで、ゼンリンという住宅地図のデジタル版を各学校に寄附していただいております。それを、通学路とか家庭訪問に利用したり、ふるさと学習に活用できると思っております。

木村委員 どこからの寄附ですか。
川島部長 山陰防災電機株式会社からです。
教育長 創設50周年ということでの寄附です。
木村委員 各小中学校にですか。
川島部長 そうです。
教育長 よろしいでしょうか。
委員 (はい)

(3) 議題

教育長 それでは議題に入りたいと思います。今回は1件であります。議題第43号教育委員会の事務に関する点検・評価について、事務局から説明をお願いします。

森本課長 資料により説明。

(外部評価者と実施スケジュールの紹介、今年度から「取組状況の点検・評価」に係る様式を変更することについて説明。)

教育長 今年度においては、事業等の取組状況の点検・評価の取りまとめが1か月程度遅れておりますが、正式なものを作成の上、11月の定例教育委員会でご審議をお願いしたいと思っております。また、中身につきましても、若干、分かり易いように項目ごとに整理をさせていただいておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

福間委員 目標というのは、数値として現して、それに対する成果というものを出されるのでしょうか。

森本課長 教育ビジョンで定められたものがありますので、それと比較をしながらするものであります。

教育長 全部が数値化できるものではありませんが、数値化できるものについては数値で現したいと思っております。

これにつきましては、よろしいでしょうか。

委員 (はい)

教育長 それでは、議題第43号については承認ということにいたします。

- 教育長 続きまして、その他の報告に入らせていただきます。
まず、全国学力・学習状況調査の結果分析について、説明をお願いします。
- 和田課長 資料No.1により説明。
(今年は小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された。昨年は、地震の影響で一斉に出来なかったが、今年は一斉に実施した。教育委員会で分析した調査結果の概要について説明。公表についてはホームページで実施。)
- 教育長 ホームページでの公表は、1ページから9ページ全部ですか。
和田課長 昨年は、全部を公表しております。昨年については、結果内容が、だいたい多くて、見てもらえないこともありましたので、今年は、整理して短めにしております。
- 教育長 ホームページへの公開時期は、もう決まっていますか。
和田課長 島根県からも「いつ、どのように公開しますか」という調査が来ていますので、「10月初旬、ホームページで公開」との回答はしております。
- 教育長 1ページ目の「算数・数学の勉強が好きだ」という項目が、小6、中3共に三角(▲)であるところが、少し気になります。勉強が好きであるということが、成績がよいということには限らないと思います。また、「好き」と「得意」ということは違います。私が思うに、この「勉強が好きだ」は、学校の先生の影響が大きいと思います。勉強が好きになるということは、学校の先生の技量であり、その先生によって、左右されるのではないかと思います。小6も中3も三角(▲)であったことには、非常にショックでした。
- 木村委員 中学生は、反抗期にも入っているのです、先生と生徒というよりも、対人となった時に、気が合うか合わないかによって、嫌いな先生の授業は聞かないという話をよく聞きます。
- 福岡委員 確かにそうですね。
- 仲野委員 先生の好き嫌いは、昔からあることで、それを変えていく必要があると思います。だから、学校で出来なければ、家庭学習で補えられるようなことも考えるべきだと思います。
- 福岡委員 教員の好き嫌いは、新学期の担任発表の 때가、一番よく分かったものです。
- 仲野委員 最終的に、予備校のようになります。人気の講師のところに集ま

るというように。

教育長 これについては、親の影響もあると思います。親が子どもの前で、学校の先生の悪口を言えば、子どもは聞いていて、そのようになります。今でも、学校からは、家庭の方で、先生の悪口とか評価を、子どもの前で言わないでほしいと言っていると思います。

木村委員 4月に、学校からもらってくる保護者向けの便りに、「家庭学習は、この辺をこのようにしてもらいたい」という中で、「教員への不満は、直接、学校の方にお伝えください。子どもの前では言わないでください。」と記載してあります。

福間委員 先程より、先生の評価が話題になっていますが、子どもたちの学校生活の中で、小学校でも中学校でも、総合的な学習の中で探究的な学習などのポイントが高くなっています。子どもの学習する集団づくりを強化し、育てていく形になれば、学校の先生の評価とは関係なく、自分たちで追究していくという方向性に持って行けるのではないかと思います。

教育長 それも、ある程度の子どもができれば出来ると思います。

福間委員 リーダーシップが取れるような人間が育ってくれば、一番よいことであると思います。

仲野委員 よく「ボキャ貧」と言われます。確かに、子どもたちは、語彙の知識が少ないと思います。例えば、廊下とか階段、トイレに単語帳ではないですが、貼り紙を貼ってみるとかすると、自ずと、それを見るので、意識しないで学習できると思います。

教育長 昔は、トイレに九九が貼ってあったりしました。

仲野委員 そういうイメージです。

木村委員 一番は、子どものやる気です。それを、どのように引き出すのが、先生と保護者との、また家庭での課題であると思います。

仲野委員 家庭学習こそ、ICTの活用が出来ないのかなと思います。高校生などは、スマホを使って、予備校の授業の動画配信サービスを利用しています。一方的に聞くだけですが、例えば、時間を決めて、今、テレビ会議のソフトを使えば、1対100くらい対応できるので、お互いにコミュニケーションを取りながら、学習が出来ると思います。時間を決めて、例えば、土曜日の何時から何時までということで、専門の先生が、例えば、数学の得意な人が授業をして、スマホを活用しながら、学習していくということも可能であると思います。なかなか直に聞きに行けない場合には、こ

- のようなやり方もあると思います。
- 教育長 年齢が近いと聞き易い面があると思います。島根大学でも県立大学でも大田市の出身者は、たくさんいますので、その人たちにお願ひするというこゝも考えられると思います。
- 梶委員 1 ページの一番下のところですが、「授業中に自分の考えを深める・話し合いをする」が等しい（≐）か二重丸（◎）ですが、これは「したい」という意味ですが、それとも「している」ということですか。
- 和田課長 「している」ということです。
- 梶委員 子どもたちは、「学習をしている」ということを、ちゃんと分かっているのですね。
- 和田課長 同じような質問が何回も出てきますが、「している」と考えていると思われまゝす。
- 梶委員 これは、学校の取り組みとして、いいことであると思います。それから、4 ページ、5 ページのところですが、小学校も中学校も、国語の「分類・区別集計結果」の全国との差がプラスになっています。これは、今までになかったことですよ。もっとマイナスが多かったように思いますが。成果が出ている気がします。数学については、私も数学の教員でしたが、やはり小学校の時の少しの差が、中学校ではもの凄ひな差になってきます。二極化してきます。
- 和田課長 昨年は、基礎的な問題と応用的な問題に分かれていましたので、一概に比較はできませんが、昨年は、ほとんどプラスがありませんでした。昨年は、中学校は全部マイナスでしたので、それを考えると良いと思います。
- また、昨年は、中学3年は英語がありませんでした。英語ではなく、理科でした。年によって、教科が違います。
- 川島部長 正答数分布グラフの縦の単位がバラバラですが、統一したらどうですか。
- 和田課長 了解しました。
- 教育長 もう一度、誤字、脱字がないように中身を確認して、10月4日金曜日にホームページに載せてください。
- これについては、よろしいでしょうか。
- 委員 (はい)
- 教育長 続きまして、第20回難波利三ふるさと文芸賞応募状況について、

説明をお願いします。

遠藤課長 資料No.2により説明。
 (応募状況、今後の予定について説明。)

木村委員 大阪府からの応募が多いですね。
 霊山課長 大阪は、難波先生がおられる所です。難波先生が、文学の塾のよ
 うなものをしておられて、そこの生徒さんも募集しておられます。
 難波先生の出身地の文芸賞ということで、例年、応募が多い状況
 です。

教育長 小学生の部の市外がいませんね。
 霊山課長 小学生の部は、全て市内でした。
 川島部長 今までも、小学校は市外がありませんでしたか。
 霊山課長 年によっては、ありました。
 木村委員 小学校は、テーマがありましたか。
 霊山課長 小学校は、ありません。
 教育長 小学校、中学校は、ありません。
 木村委員 一般の部だけにテーマがあるのですね。
 教育長 一般だけが、「ふるさと そして 未来」という作品テーマがあり
 ます。
 この文芸賞の授賞式は、来年の2月8日に開催するおおだ教育の
 日の中でしたいと思っております。
 これについては、よろしいでしょうか。

委員 (はい)

教育長 続きまして、2020(第17期)長期留学生の募集について、
 説明をお願いします。

酎センター長 資料No.3により説明。
 (「2020年度 三瓶こだま学園 第17期生 山村留学生募集」
 のチラシを提示しながら説明。)

教育長 この募集チラシには、何名の募集か書いてありますか。
 酎センター長 何名とまでは書いてありませんが、18名です。
 教育長 募集定員18名と書かなくていいのですね。
 川島部長 先着順ではないですね。
 酎センター長 先着順にはしません。親子で体験入学に来ていただいて、その日
 を使って、面接をし、入園の決定、不決定を決めることにしてお
 ります。

教育長 18名として、育てる会は対応が可能なんですか。

川島部長 今の状況なら、足りないのでは。
西村センター長 指導員が3人になれば、可能です。来年は、男性2人、女性1人の3人は確実であると思っています。

教育長 今年は、女性の指導員は無理ですか。
西村センター長 今のところは、無理です。
教育長 今は、女性の指導員がいないので、魅力化コーディネーターの女性2人の時間がある時に、お手伝いをしてもらっている状況です。

教育長 これについては、よろしいでしょうか。
委員 (はい)
教育長 最後に、笠岡市との中学生交流事業の報告書が配付されていると思います。これは、笠岡市で作成され、送っていただいたものです。読んでいただければと思います。

川島部長 この報告書の中で、笠岡の中学生が、「初めて北木島に行きました」とか「石切り場は初めてでした」と書いていて、「自分たちが笠岡の素晴らしいところを知りました」と感想を綴っていたところが、とても印象的でした。

教育長 本日の議題は、全て終わりましたが、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。
委員 (はい)
教育長 次回の定例会は、皆さんの日程上、10月30日水曜日の午後2時からということで、よろしく願いいたします。

以上をもって委員会を閉会した。

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

令和元年10月30日

作成者 総務課長補佐 錦織 勉

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

令和元年10月30日

教育長 船木三紀夫

委員 竹下 ちとせ

委員 伴野 義文

委員 梶 伸光

委員 福開 信隆

委員 木村 貴子